

Title	堀田一善教授退任記念号発刊にあたって
Sub Title	
Author	桜本, 光(Sakuramoto, Hikaru)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2006
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.49, No.4 (2006. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	堀田一善教授退任記念号
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20061000--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

堀田一善教授退任記念号発刊にあたって

堀田一善教授は2006年3月31日をもって定年で退職になられました。退任記念号発刊にあたり同教授の略歴のご紹介と商学部教員を代表しまして、今日まで長年にわたる教育・研究・大学運営の多大な功績に対し一言御礼を申し上げたいと思います。

堀田教授は、1964年3月に慶應義塾大学商学部を卒業され、商学研究科修士課程に進学され、1970年3月に博士課程を修了されました。博士課程在学中の1967年4月に慶應義塾大学商学部助手に就任されました。その後1972年4月に助教授、そして1984年4月に同学部教授に昇進され、今日に至っております。この間、40年余りにわたって、教育・研究・大学運営に熱心に努められました。

教育に関しては、商業学およびマーケティングの領域における様々な科目を担当され、特に、研究会には多大な時間と情熱を注いで指導をされてきました。慶應の精神的伝統の上に築かれたその学問に対する真摯な姿勢は着実に学生に伝わり、数多くの優秀な塾生とともに、多くの次代を担う研究者を育て上げてこられました。

研究に関しては、科学哲学の成果を吸収した上での確固たる方法論的基盤の上に、一貫してマーケティング学説史研究とマーケティング史研究を推進し、関連する学会にとっての貴重な成果を多数発表され、この分野の第一人者としての地位を築かれてこられました。

大学運営に関しては、多くの重要な役職を勤められてきましたが、特に1997年の10月から1999年の9月末日にかけて商学部長に選出され、学部運営に多大な貢献をされてこられました。また、2001年5月に塾の評議員にも選出され、2004年10月まで塾内の運営にも多大な貢献をされてこられました。

商学部の様々な学部改革や危機に際して堀田先生は、重要な提言や活発な議論を誘発する意見を述べてこられました。社会との関わりをとおして理論と現実問題との関連を進んで理解しうる機会を提供する目的から、大学2年生対象の短期インターシップ科目「社会との対話」の設置をされました。その精神とそこご努力の成果を今後も発展させたく願っております。

定年と聞いて大変驚いているのが実情であります。慶應義塾に定年規定がある限りいたしかたがないことですが、健康に留意されなご活躍をお祈りいたしております。今後も、名誉教授として研究・教育の場で、我々を含めた後進の指導をお願いし、はなはだ簡単ですがお礼の言葉にかえさせていただきます。

2006年9月15日

商学部長 桜 本 光